

サービス産業活動図表集

2020年12月の第3次産業活動指数の状況

2021 年 2 月 16 日

URL:<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

2020年12月の第3次産業活動指数の状況

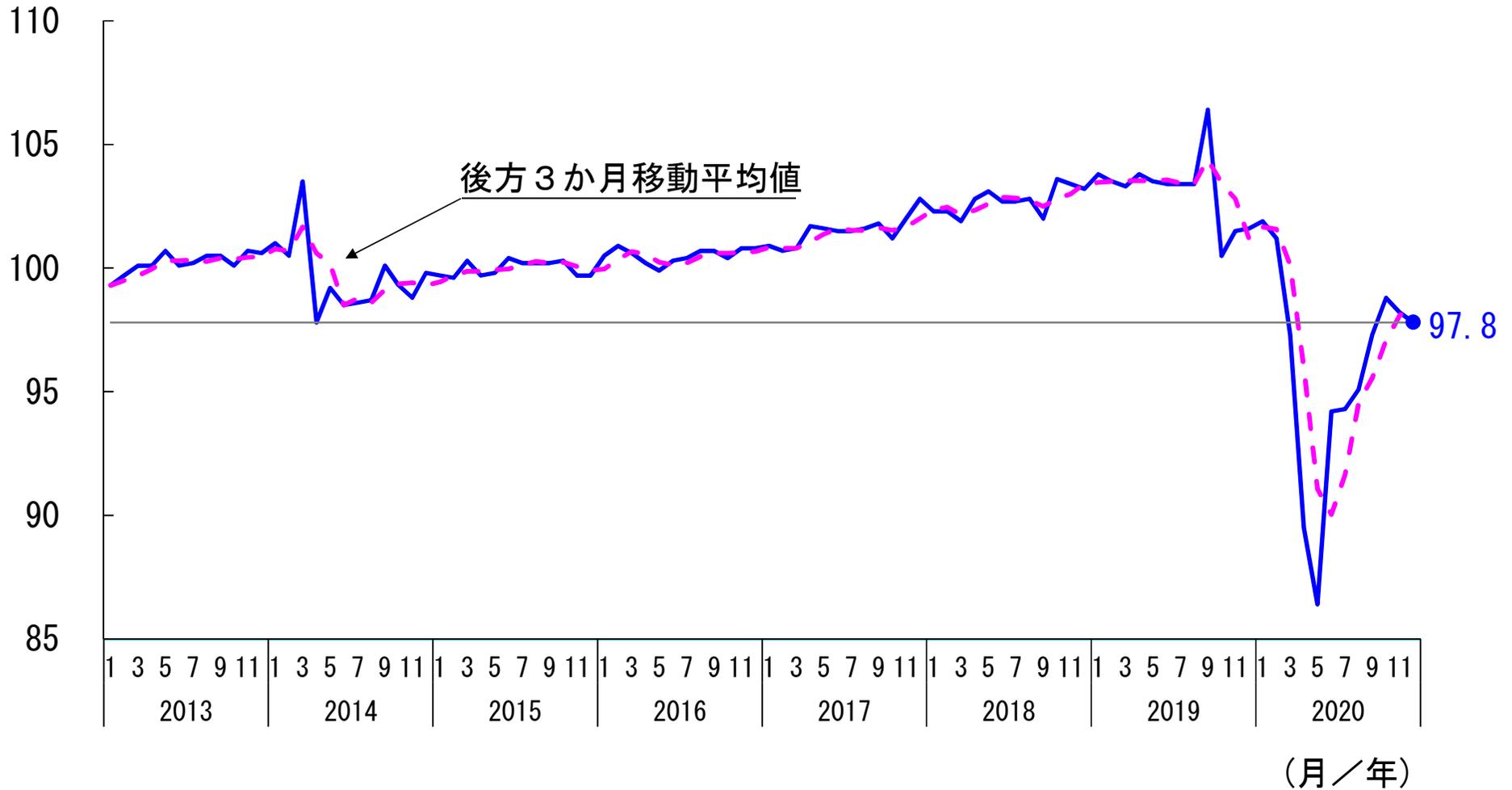
月次	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数 前月比	97.8 -0.4%	96.3 -0.6%	98.0 -1.1%
指数水準	2020.9 97.3以来 ①2020.5 86.4 ②2020.4 89.5 ③2020.6 94.2	2020.9 96.1以来 ①2020.5 81.3 ②2020.4 83.3 ③2020.7 92.5	2020.8 97.0以来 ①2020.5 90.6 ②2020.4 95.4 ③2020.6 95.7
前月比の動き	2か月連続— (2020.11～当月)	2か月連続— (2020.11～当月)	7か月ぶり— (2020.5以来)
前月比幅	2020.11 -0.6%以来 ①2020.4 -8.0% ②2014.4, 2019.10 -5.5% ③2020.3 -3.9%	2020.11 -1.1%以来 ①2020.4 -11.2% ②2019.10 -6.7% ③2020.3 -6.5%	2020.5 -5.0%以来 ①2014.4 -6.9% ②2019.10 -6.1% ③2020.4 -5.4%
原指数 前年同月比	104.1 -3.6%	102.6 -4.6%	105.5 -2.8%
前年同月比の動き	15か月連続— (2019.10～当月)	15か月連続— (2019.10～当月)	15か月連続— (2019.10～当月)
前年同月比幅	2020.11 -3.7%以来 ①2020.5 -17.4% ②2020.4 -13.5% ③2020.7 -8.9%	2020.9 -9.2%以来 ①2020.5 -20.9% ②2020.4 -18.7% ③2020.6, 7 -9.4%	2020.11 -3.2%以来 ①2020.5 -13.9% ②2020.7 -8.6% ③2020.4 -8.5%

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

第3次産業活動指数の動向

・ 2020年12月の第3次産業活動指数は、97.8(前月比-0.4%)と2か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)



2020年12月

「第3次産業活動は、持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」

基調判断の推移

- ・2017年5月～7月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2017年8月～10月 「高い水準で横ばい」
- ・2017年11月～2018年2月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2018年3月 「一部に弱さがみられる」
- ・2018年4月～8月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2018年9月 「足踏みがみられる」
- ・2018年10月～2019年2月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2019年3月～6月
「持ち直しの動きにあるが、一部に弱さがみられる」
- ・2019年7月 「高い水準で横ばい」
- ・2019年8月～9月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2019年10月～2020年1月 「足踏みがみられる」
- ・2020年2月 「足踏みのなかに弱さがみられる」
- ・2020年3月～4月 「急落している」
- ・2020年5月 「引き続き低落している」
- ・2020年6月～7月 「底打ちの動き」
- ・2020年8月～9月 「持ち直しの動き」
- ・2020年10月 「持ち直している」
- ・2020年11月
「持ち直しているものの、一部に足踏みがみられる」
- ・2020年12月
「持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」

(2015年=100、季節調整済)

		第3次産業 総合		前期比 (%)
2018年	I期	102.2	0.2	
	II期	102.9	0.7	
	III期	102.5	-0.4	
	IV期	103.4	0.9	
2019年	I期	103.5	0.1	
	II期	103.6	0.1	
	III期	104.4	0.8	
	IV期	101.2	-3.1	
2020年	I期	100.1	-1.1	
	II期	90.0	-10.1	
	III期	95.6	6.2	
	IV期	98.3	2.8	

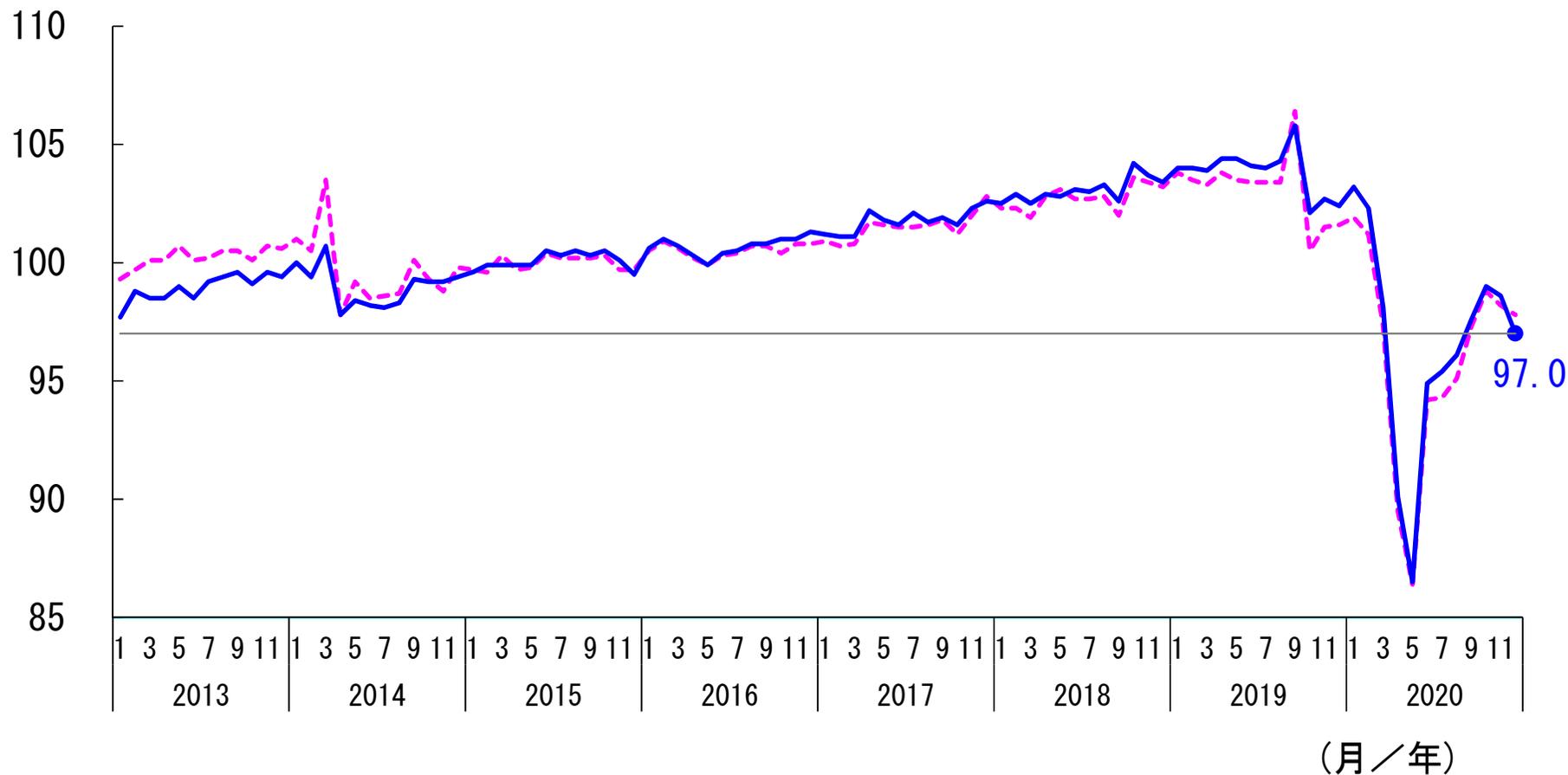
		第3次産業 総合		後方3か月 移動平均	
		前月比 (%)		前月比 (%)	
2018年	1月	102.3	-0.5	102.4	0.4
	2月	102.3	0.0	102.5	0.1
	3月	101.9	-0.4	102.2	-0.3
	4月	102.8	0.9	102.3	0.1
	5月	103.1	0.3	102.6	0.3
	6月	102.7	-0.4	102.9	0.3
	7月	102.7	0.0	102.8	-0.1
	8月	102.8	0.1	102.7	-0.1
	9月	102.0	-0.8	102.5	-0.2
	10月	103.6	1.6	102.8	0.3
	11月	103.4	-0.2	103.0	0.2
	12月	103.2	-0.2	103.4	0.4
2019年	1月	103.8	0.6	103.5	0.1
	2月	103.5	-0.3	103.5	0.0
	3月	103.3	-0.2	103.5	0.0
	4月	103.8	0.5	103.5	0.0
	5月	103.5	-0.3	103.5	0.0
	6月	103.4	-0.1	103.6	0.1
	7月	103.4	0.0	103.4	-0.2
	8月	103.4	0.0	103.4	0.0
	9月	106.4	2.9	104.4	1.0
	10月	100.5	-5.5	103.4	-1.0
	11月	101.5	1.0	102.8	-0.6
	12月	101.6	0.1	101.2	-1.6
2020年	1月	101.9	0.3	101.7	0.5
	2月	101.2	-0.7	101.6	-0.1
	3月	97.3	-3.9	100.1	-1.5
	4月	89.5	-8.0	96.0	-4.1
	5月	86.4	-3.5	91.1	-5.1
	6月	94.2	9.0	90.0	-1.2
	7月	94.3	0.1	91.6	1.8
	8月	95.1	0.8	94.5	3.2
	9月	97.3	2.3	95.6	1.2
	10月	98.8	1.5	97.1	1.6
	11月	98.2	-0.6	98.1	1.0
	12月	97.8	-0.4	98.3	0.2

卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数

・ 2020年12月の卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数は、97.0(前月比-1.6%)と2か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

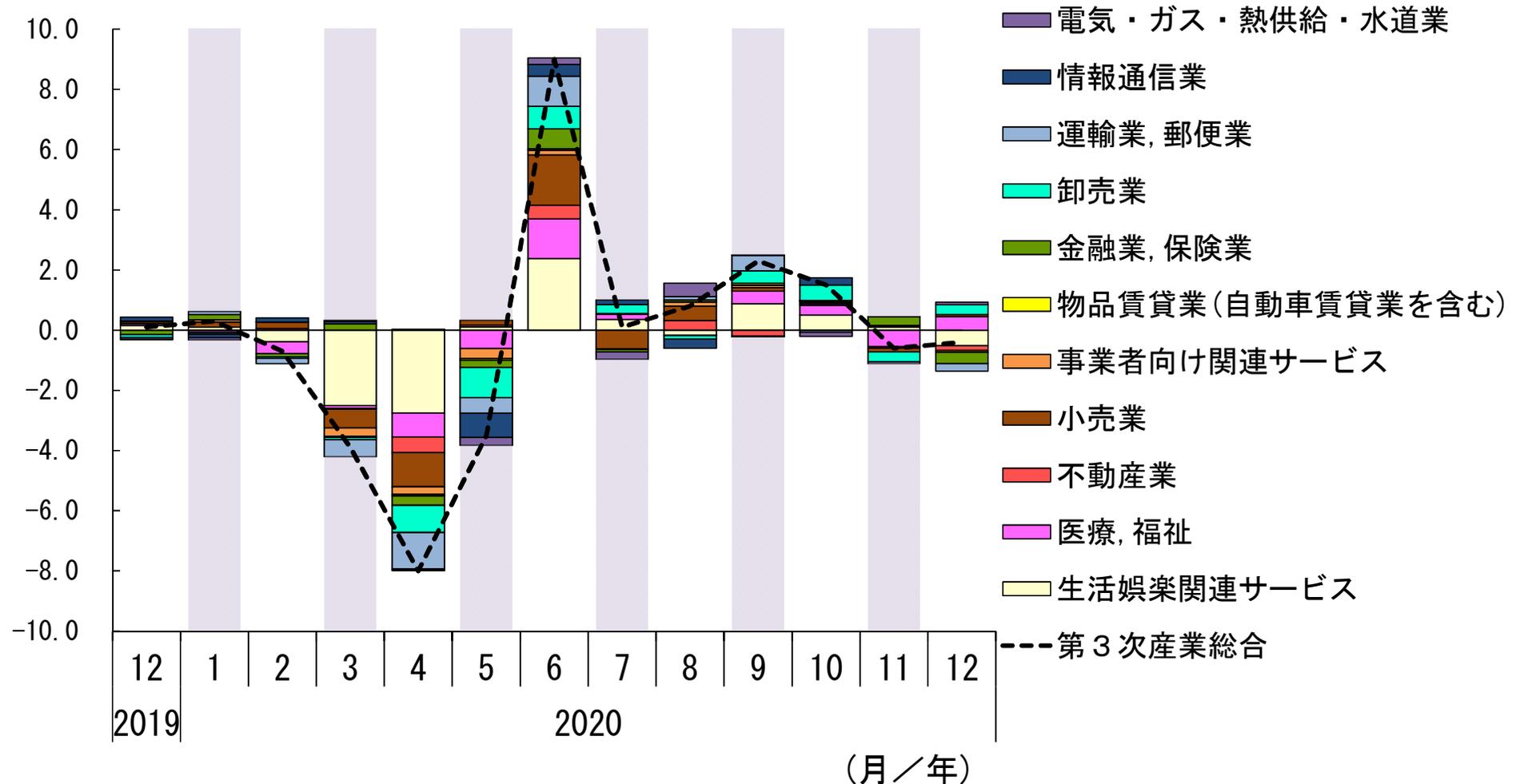
--- 第3次産業総合 — 除く卸売業、小売業



第3次産業活動指数前月比 業種別の影響度合い

・ 2020年12月の第3次産業活動指数は、医療、福祉などが上昇したものの、生活娯楽関連サービスなどが低下したため、前月比-0.4%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



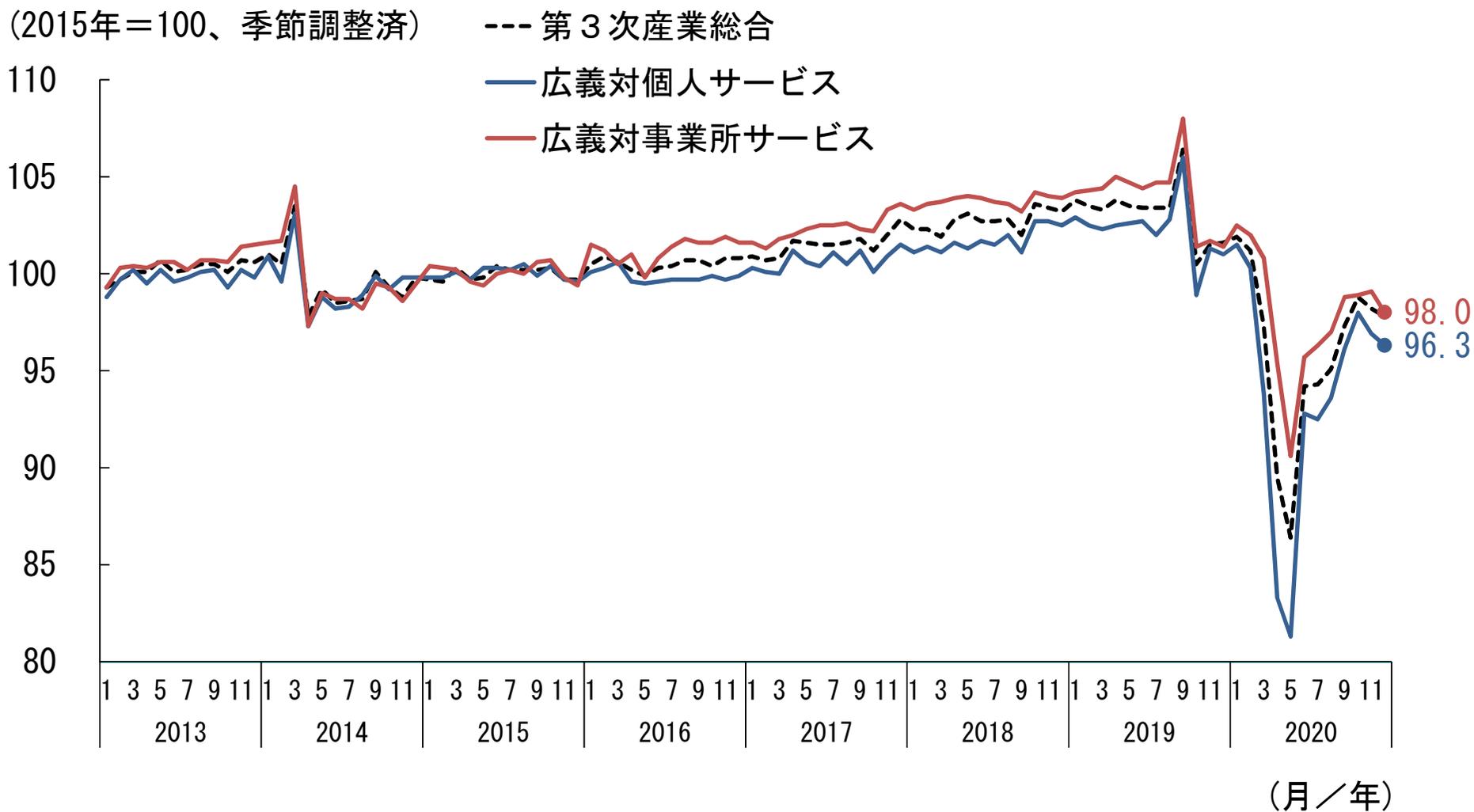
第3次産業活動指数を大きく動かした個別系列

		業種名	前月比	寄与率
○ 第3次産業総合を 低下 方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	生活娯楽関連サービス	- 5.5%	- 125.5%
	内訳業種	飲食店, 飲食サービス業	- 13.3%	- 110.2%
		宿泊業	- 11.5%	- 21.4%
	2位の業種	金融業, 保険業	- 3.9%	- 90.0%
	内訳業種	銀行業・協同組織金融業	- 0.3%	- 3.0%
		3位の業種	運輸業, 郵便業	- 2.7%
内訳業種	鉄道業	- 3.9%	- 14.3%	
	郵便業(信書便事業を含む)	- 12.1%	- 11.1%	
○ 第3次産業総合を 上昇 方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	医療, 福祉	3.4%	111.5%
	内訳業種			
		2位の業種	卸売業	2.5%
	内訳業種	機械器具卸売業	2.0%	20.0%
		その他卸売業(機械器具を除く住関連卸売業)	1.9%	16.5%
	3位の業種	電気・ガス・熱供給・水道業	2.4%	22.7%
内訳業種	電気業	5.0%	28.7%	

寄与率：第3次産業全体の変動に対して影響を及ぼした、各業種の影響の度合い全業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

広義対個人サービス／広義対事業所サービス活動指数の動向

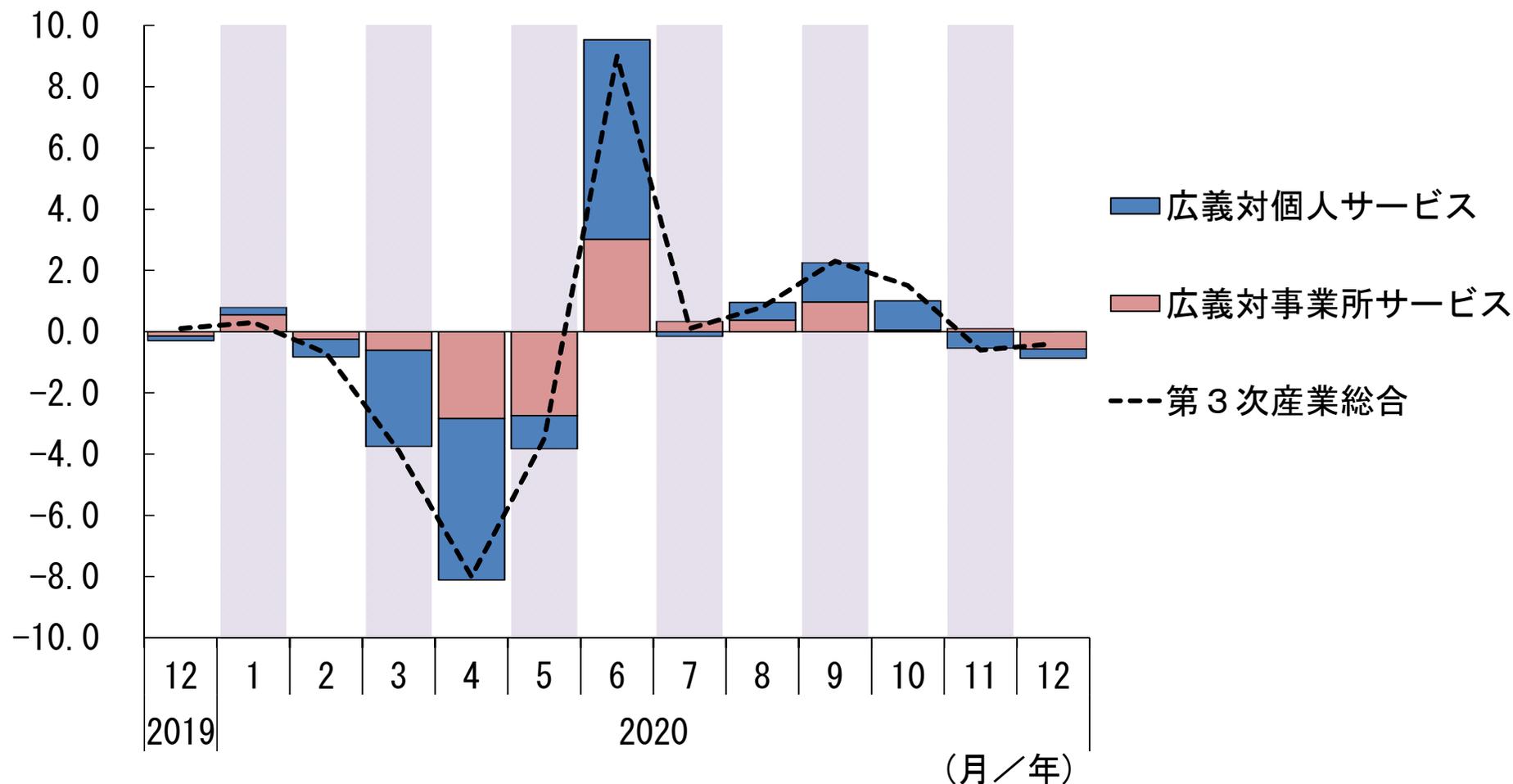
- ・ 2020年12月の広義対個人サービス活動指数は、96.3(前月比-0.6%)と2か月連続の低下。
- ・ 広義対事業所サービス活動指数は、98.0(前月比-1.1%)と7か月ぶりの低下。



第3次産業総合前月比 広義対個人／広義対事業所サービスの影響度合い

- 2020年12月の第3次産業活動指数は、前月比-0.4%の低下。広義対事業所サービス、広義対個人サービスともに低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

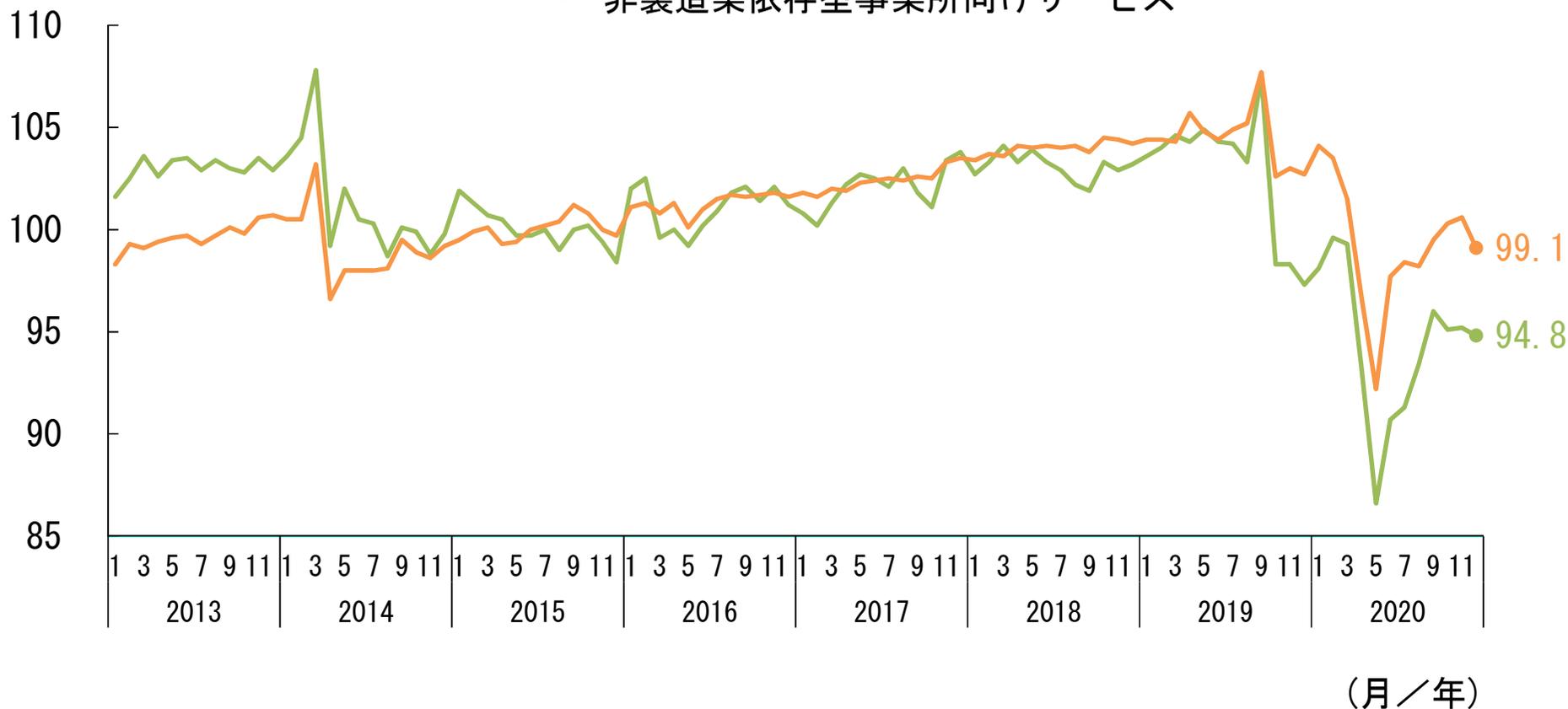


製造業／非製造業依存型 事業所向けサービス活動指数の動向

- ・製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、94.8(前月比-0.4%)と2か月ぶりの低下。
- ・非製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、99.1(前月比-1.5%)と4か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

— 製造業依存型事業所向けサービス
— 非製造業依存型事業所向けサービス

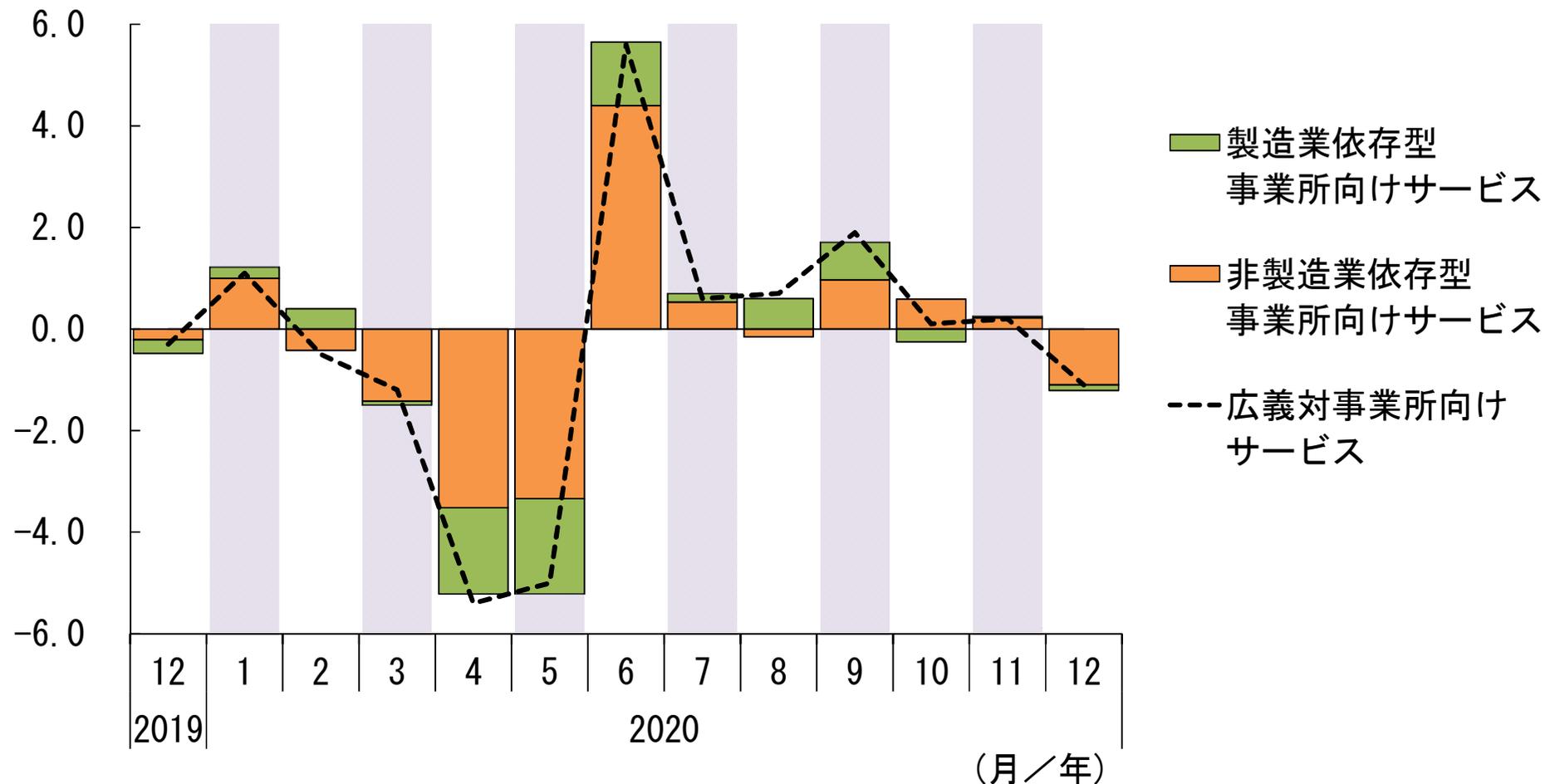


(注) 広義対事業所サービスの内訳系列を、産業連関表の製造業と非製造業の投入比率の大小により、「製造業依存型」と「非製造業依存型」の二つに分類している。

広義対事業所向けサービス活動前月比 製造業／非製造業依存型事業所向けサービス別の影響度合い

- 2020年12月の広義対事業所サービス活動指数は、前月比-1.1%の低下。製造業依存型事業所向けサービス、非製造業依存型事業所向けサービスともに低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



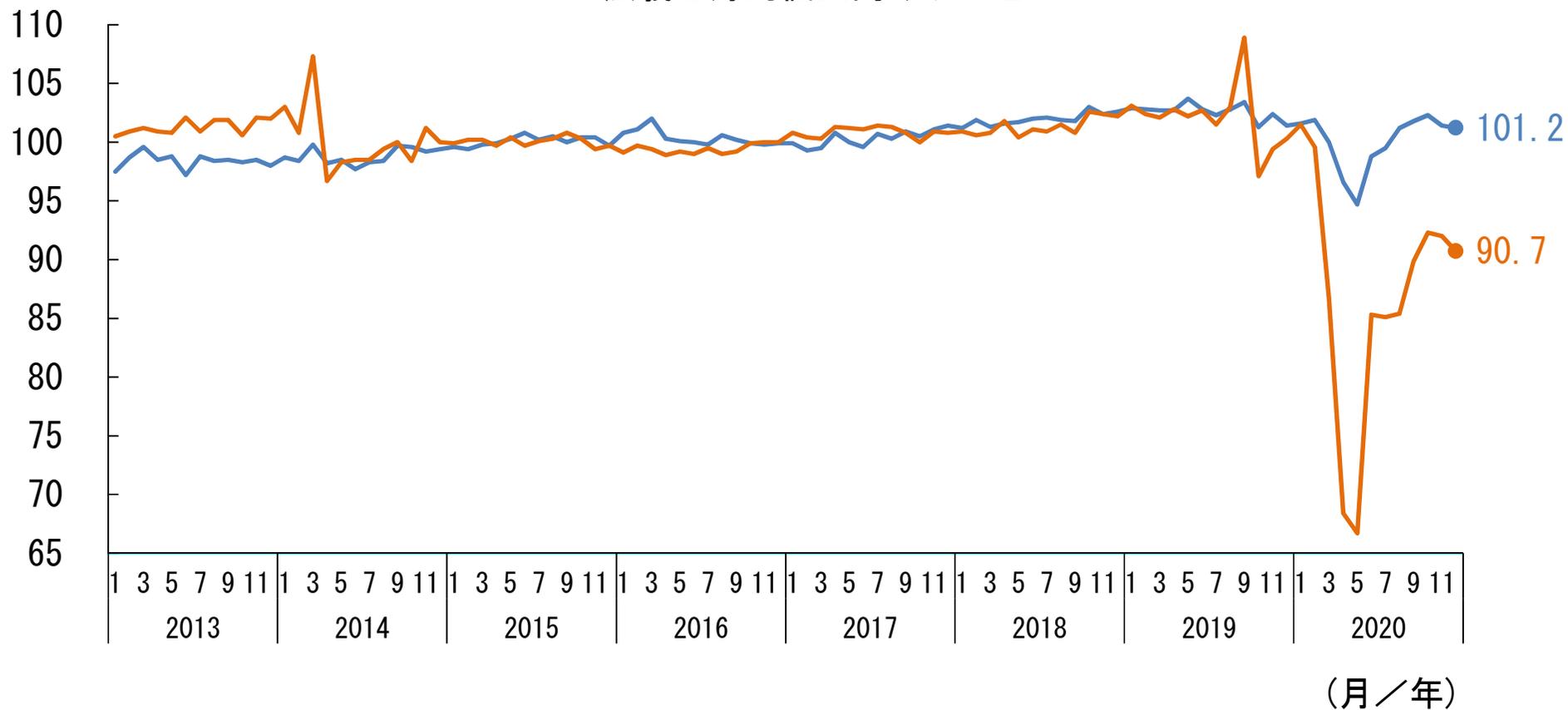
非選択的／し好的 個人向けサービス活動指数の動向

- ・2020年12月の広義非選択的個人向けサービス活動指数は、101.2(前月比-0.2%)と2か月連続の低下。
- ・広義し好的個人向けサービス活動指数は、90.7(前月比-1.4%)と2か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

— 広義非選択的個人向けサービス

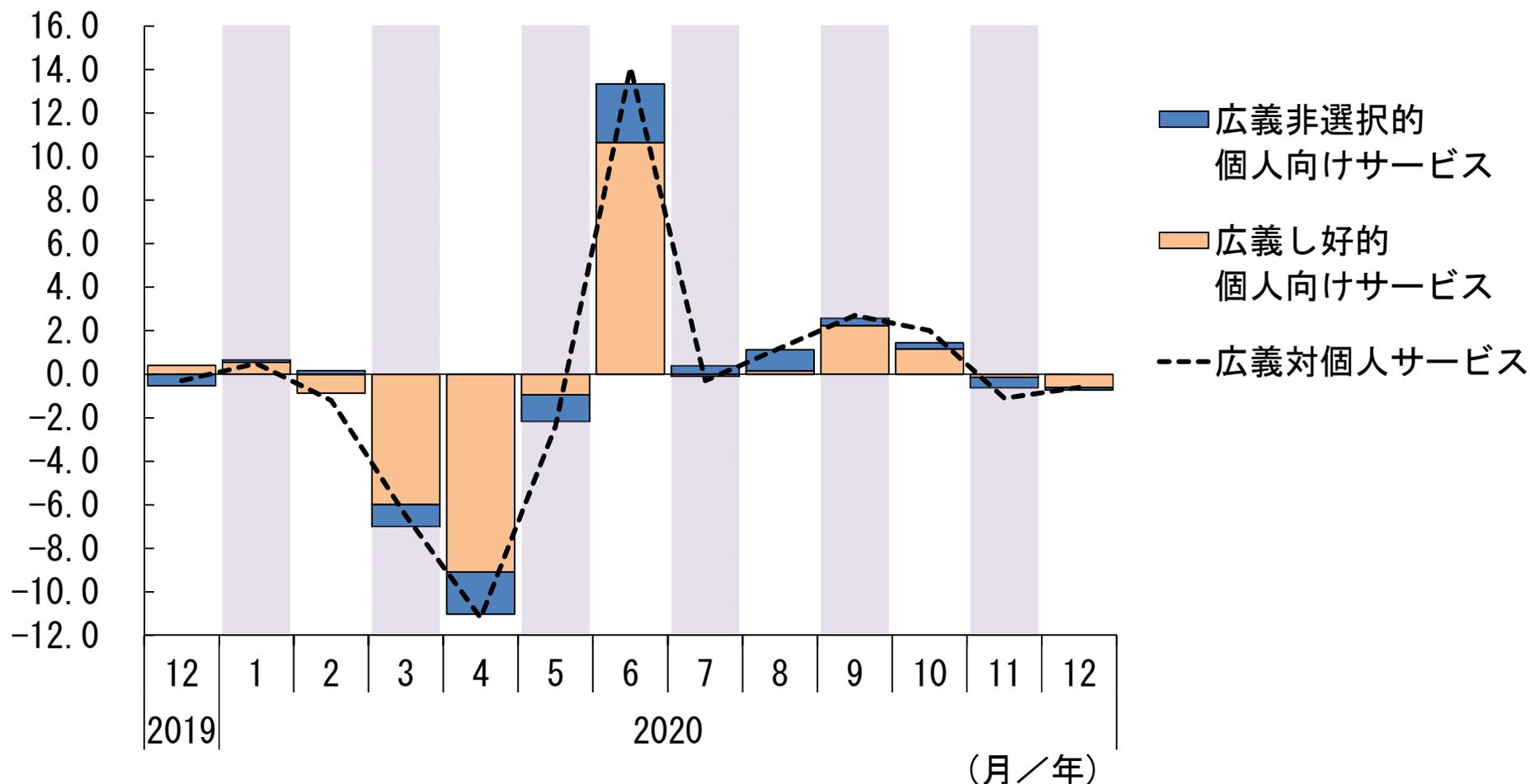
— 広義し好的個人向けサービス



広義対個人サービス活動前月比 非選択的／し好的個人向けサービス別の影響度合い

- 2020年12月の広義対個人サービス活動指数は、前月比-0.6%の低下。広義非選択的個人向けサービス、広義し好的個人向けサービスともに低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



広義対事業所サービス、し好的個人向けサービスを大きく動かした個別系列

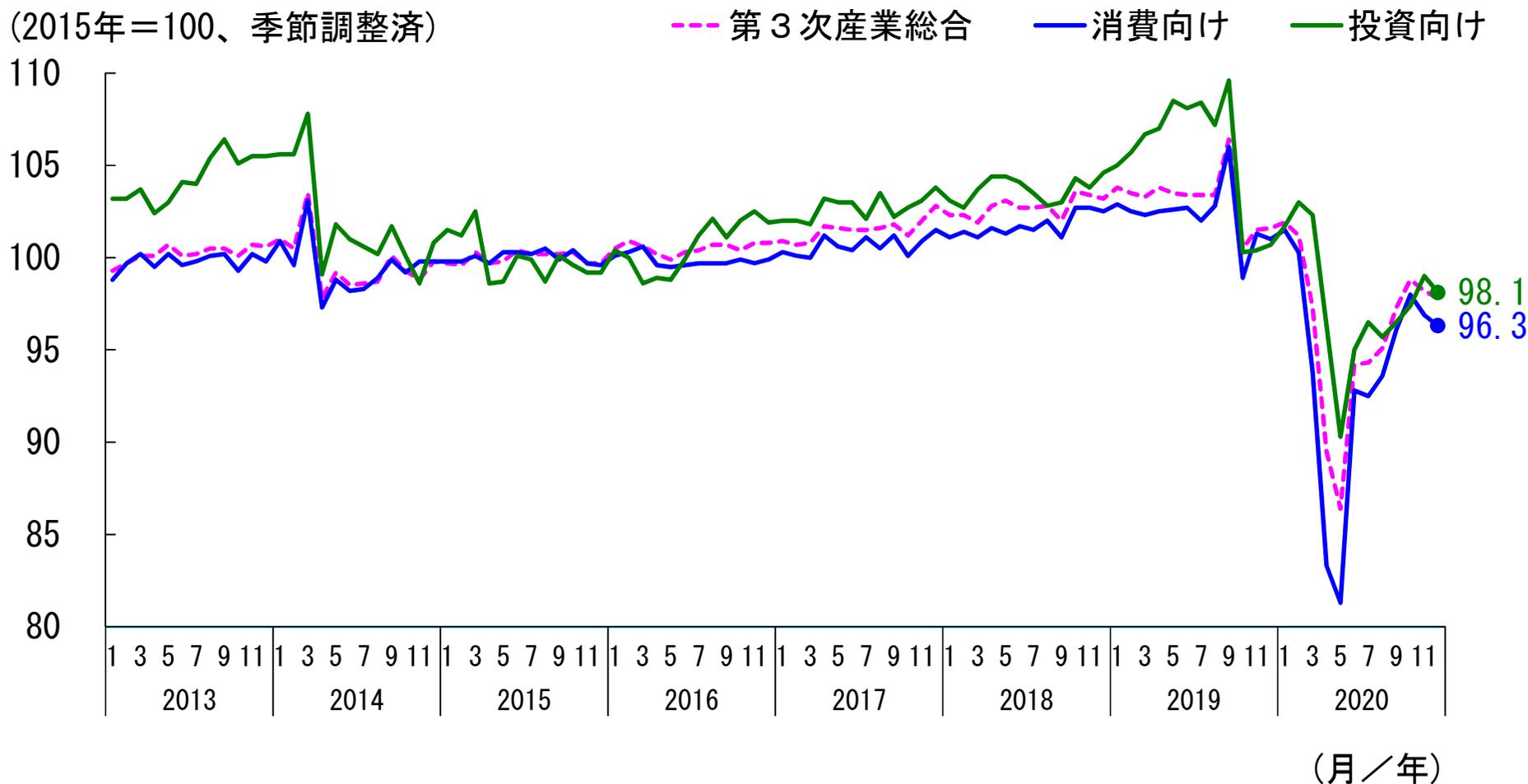
	業種名	前月比
○ 広義対事業所サービスを 低下 方向へ引張った業種の中で低下への影響度が大きい内訳業種	その他の情報処理・提供サービス業	- 10.4%
	一般貨物自動車運送業	- 2.7%
	流通業務	- 12.8%
	土地売買業	- 17.2%
	建設コンサルタント	- 3.3%
○ 広義対事業所サービスを 上昇 方向へ引張った業種の中で上昇への影響度が大きい内訳業種	電気機械器具卸売業	6.7%
	その他の機械器具卸売業	7.1%
	その他の卸売業	1.8%
	他に分類されない広告	22.1%
	自動車卸売業	5.5%

	業種名	前月比
○ し好的個人向けサービスを 低下 方向へ引張った業種の中で低下への影響度が大きい内訳業種	食堂, レストラン, 専門店	- 12.3%
	その他小売業	- 3.9%
	国内旅行	- 21.1%
	マンション売買仲介	- 9.7%
	機械器具小売業	- 3.6%
○ し好的個人向けサービスを 上昇 方向へ引張った業種の中で上昇への影響度が大きい内訳業種	ゲームソフト	36.9%
	織物・衣服・身の回り品小売業	6.5%
	マンション分譲(近畿圏)	54.1%
	自動車小売業	2.8%
	ペット・クリニック	23.4%

消費向け／投資向けサービス活動指数の動向

- ・ 2020年12月の消費向けサービス活動指数は、96.3(前月比-0.6%)と2か月連続の低下。
- ・ 投資向けサービス活動指数は、98.1(前月比-0.9%)と4か月ぶりの低下。

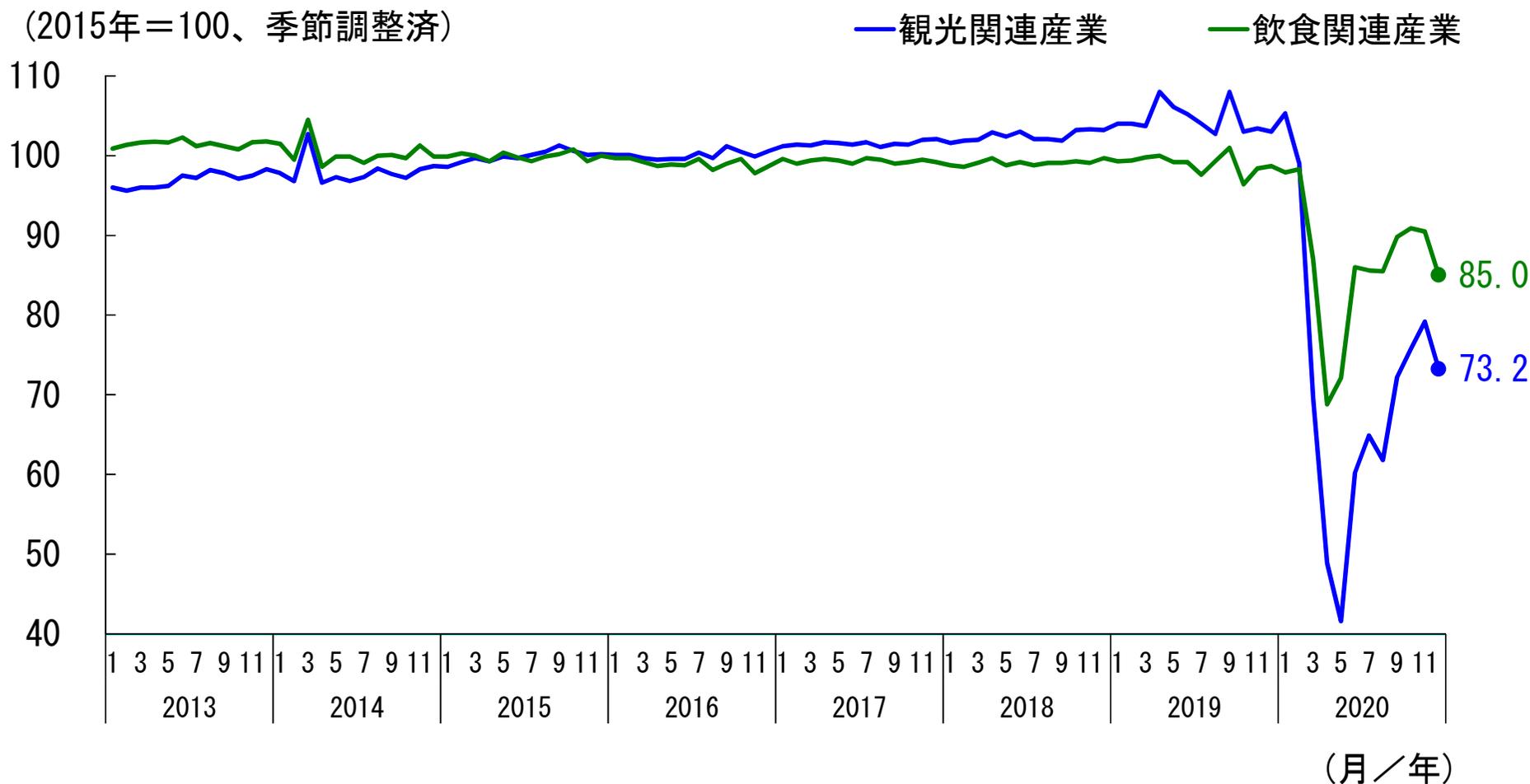
(2015年=100、季節調整済)



(注)消費向けサービス活動指数(=広義対個人サービス活動指数)は、個人消費関連のサービス(小売業や娯楽業など)の動きを表す系列。
投資向けサービス活動指数は、民間企業設備関連のサービス(ソフトウェア開発、機械器具卸売業など)の動きを表す系列。

観光関連産業活動指数、飲食関連産業活動指数の動向

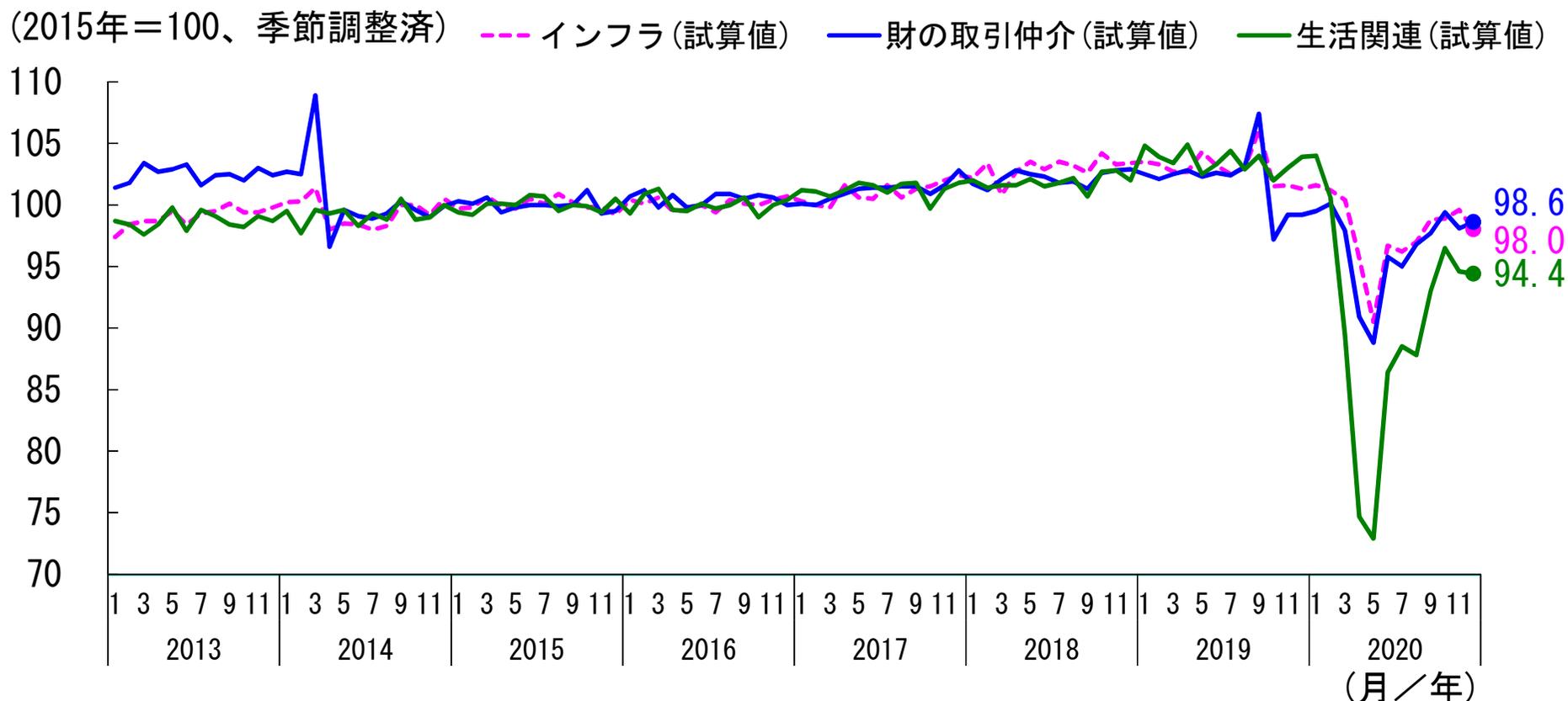
- ・ 2020年12月の観光関連産業活動指数は、73.2(前月比-7.6%)と4か月ぶりの低下。
- ・ 飲食関連産業活動指数は、85.0(前月比-6.1%)と2か月連続の低下。



(注) 観光関連産業活動指数は、鉄道、バス、タクシー、飛行機、船舶等の旅客運送業、道路施設提供業(高速道路)、旅館、ホテル等の宿泊業、旅行業、遊園地・テーマパークが含まれる。
 飲食関連産業活動指数は、デパート等の各種商品小売業(飲食料品部門)、飲食料品小売業、食堂、レストランやファーストフード等の飲食店、飲食サービス業が含まれる参考値。

形態別にみたサービス活動指数の動向

- ・ 2020年12月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、98.0(前月比-1.6%)と5か月ぶりの低下。
- ・ 財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、98.6(前月比0.5%)と2か月ぶりの上昇。
- ・ 生活関連型サービス活動指数(試算値)は、94.4(前月比-0.2%)と2か月連続の低下。



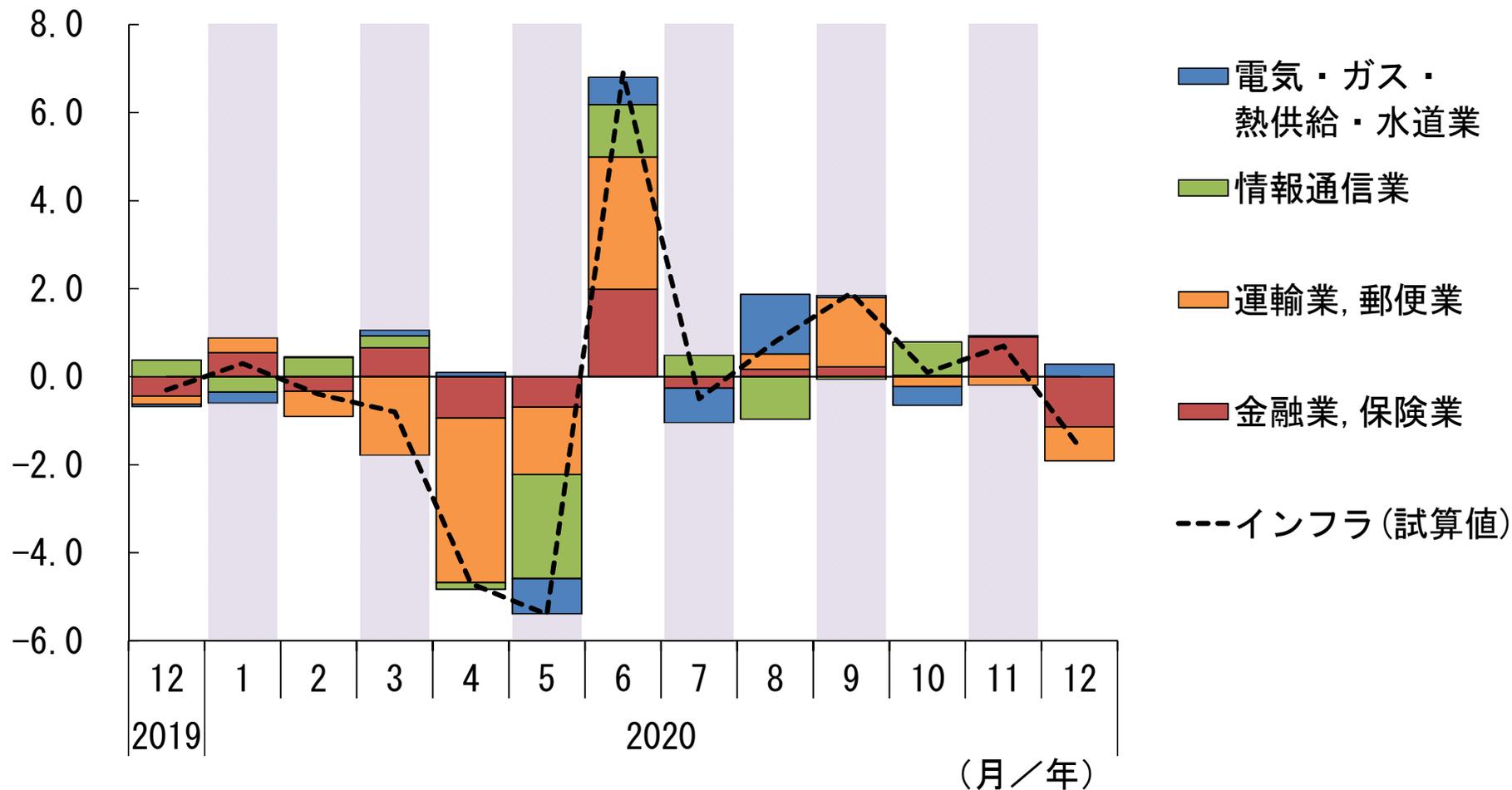
(注)インフラ型サービス活動指数、財の取引仲介型サービス活動指数、生活関連型サービス活動指数は、それぞれ下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。なお、第3次産業活動指数の11ある大分類業種のうち「事業者向け関連サービス」は、この3つの試算値には含めていない。

- ・ インフラ型サービス活動指数：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融業、保険業
- ・ 財の取引仲介型サービス活動指数：卸売業、物品賃貸業(自転車賃貸業を含む)、小売業、不動産業
- ・ 生活関連型サービス活動指数：医療、福祉、生活娯楽関連サービス

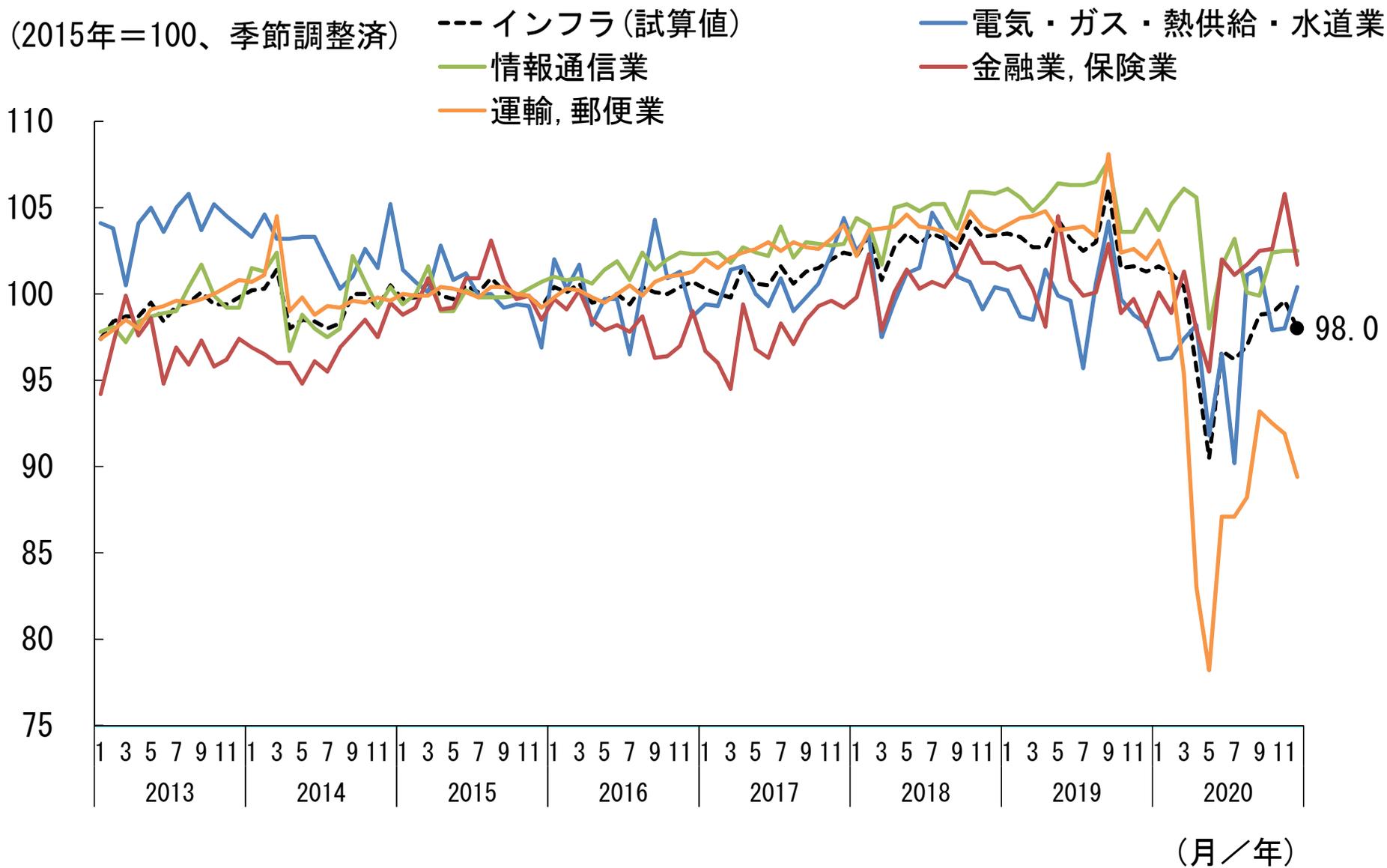
インフラ型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年12月のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、電気・ガス・熱供給・水道業が上昇したものの、金融業、保険業などが低下したため、前月比-1.6%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



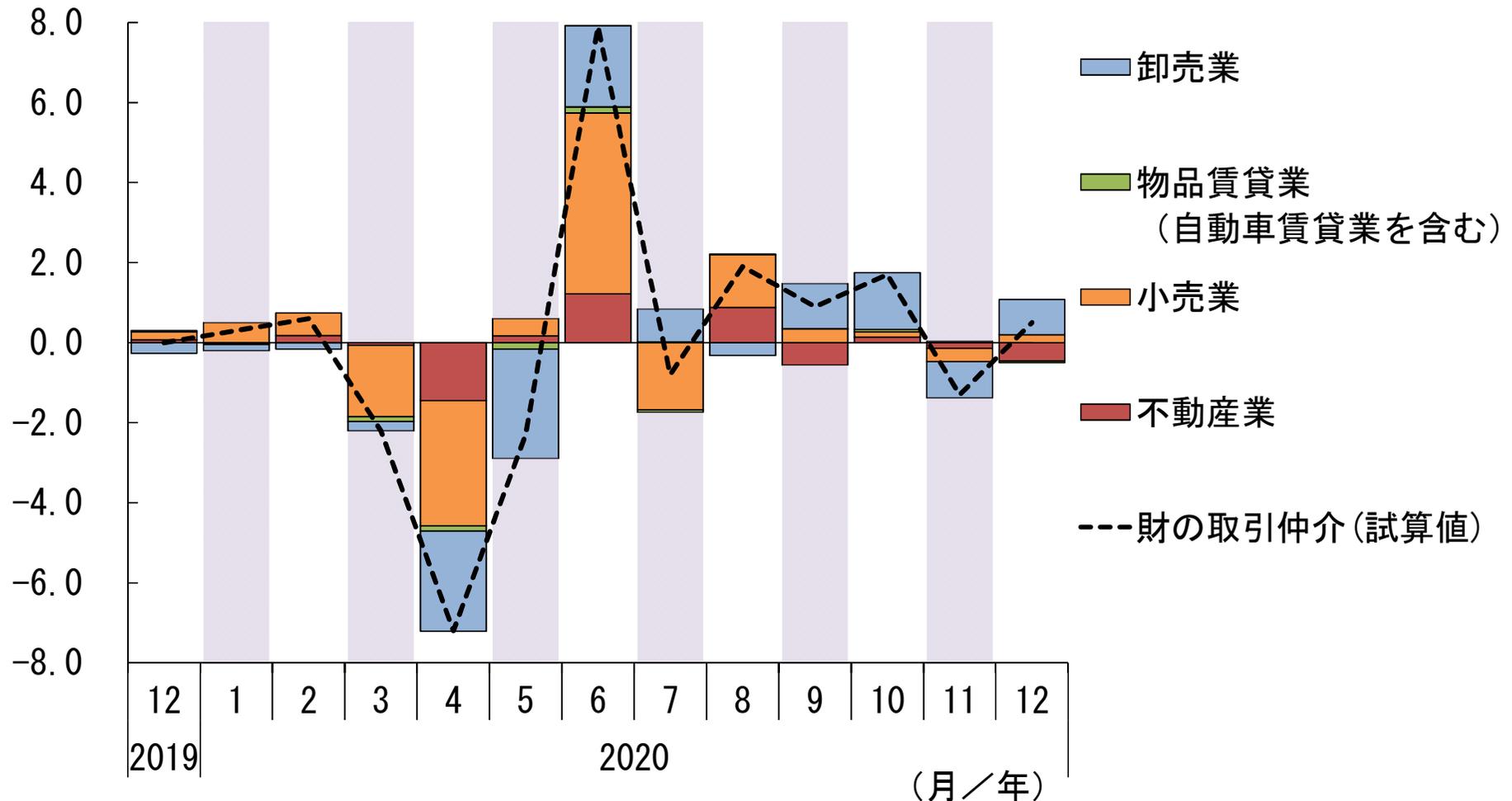
業種別にみたインフラ型サービス活動の動向



財の取引仲介型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年12月の財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、不動産業などが低下したものの、卸売業などが上昇したため、前月比0.5%の上昇。

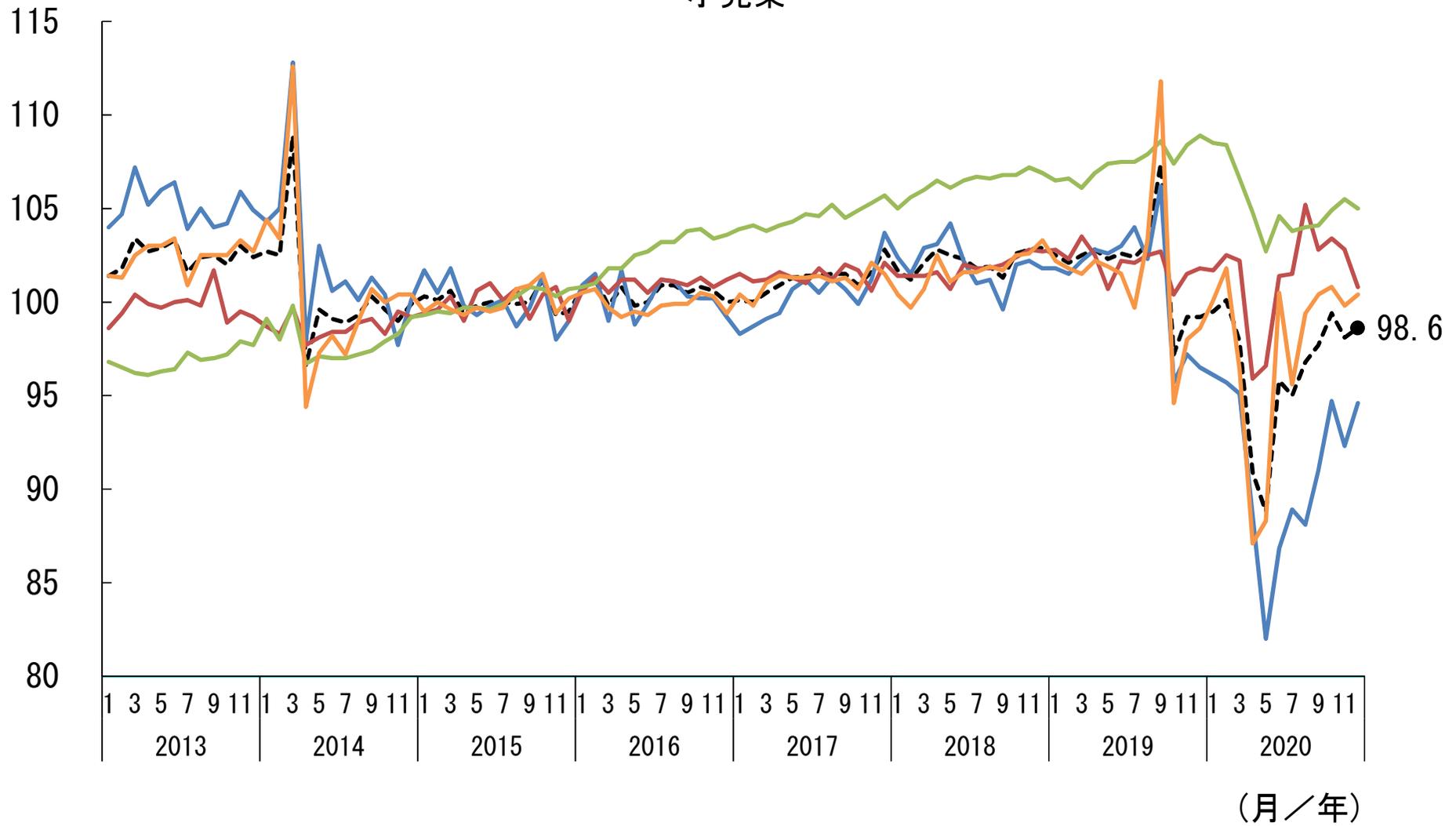
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみた財の取引仲介型サービス活動の動向

(2015年=100、季節調整済)

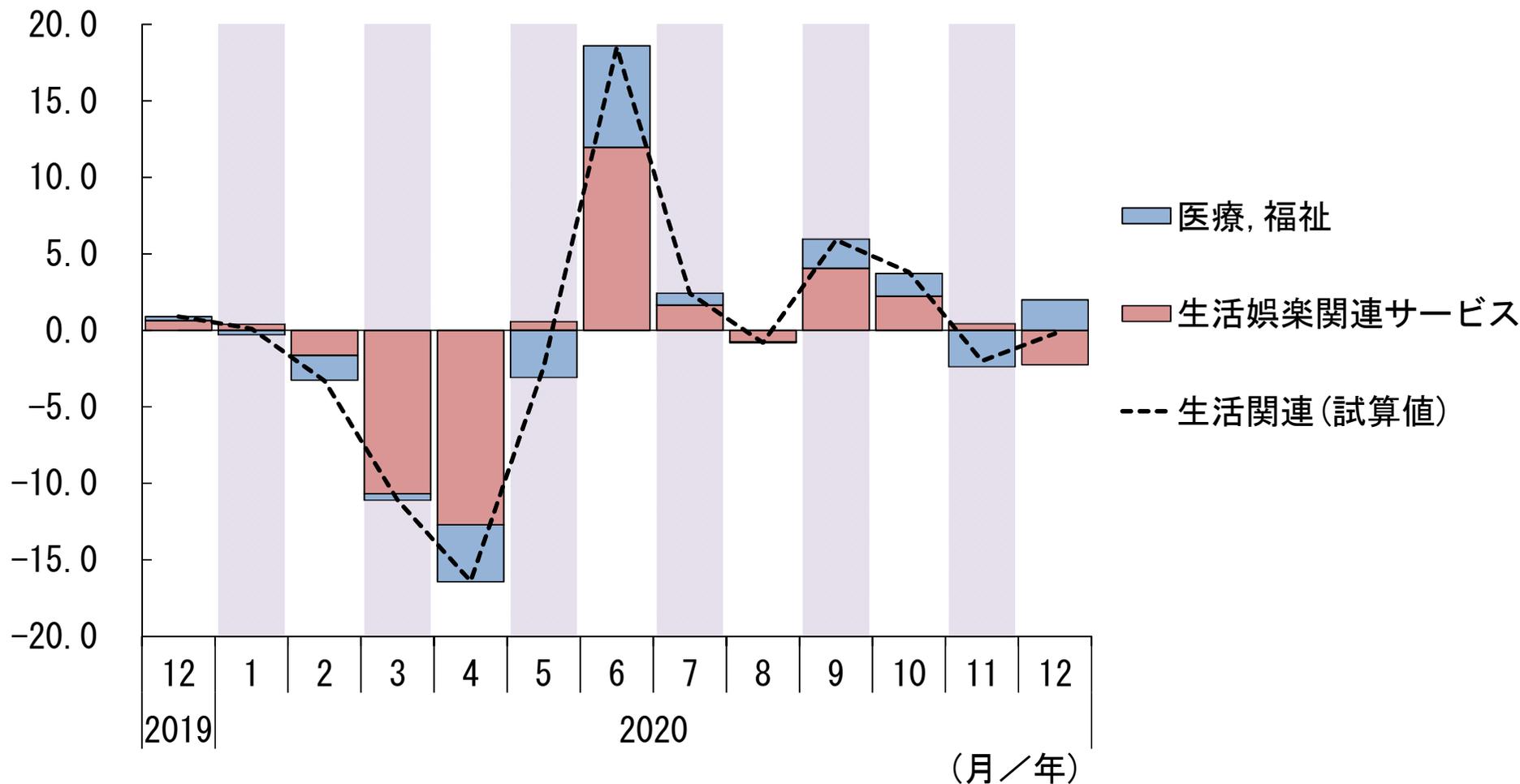
--- 財の取引仲介(試算値) 卸売業
 不動産業 物品賃貸業
 小売業



生活関連型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2020年12月の生活関連型サービス活動指数(試算値)は、前月比-0.2%の低下。医療,福祉が上昇したものの、生活娯楽関連サービスが低下。

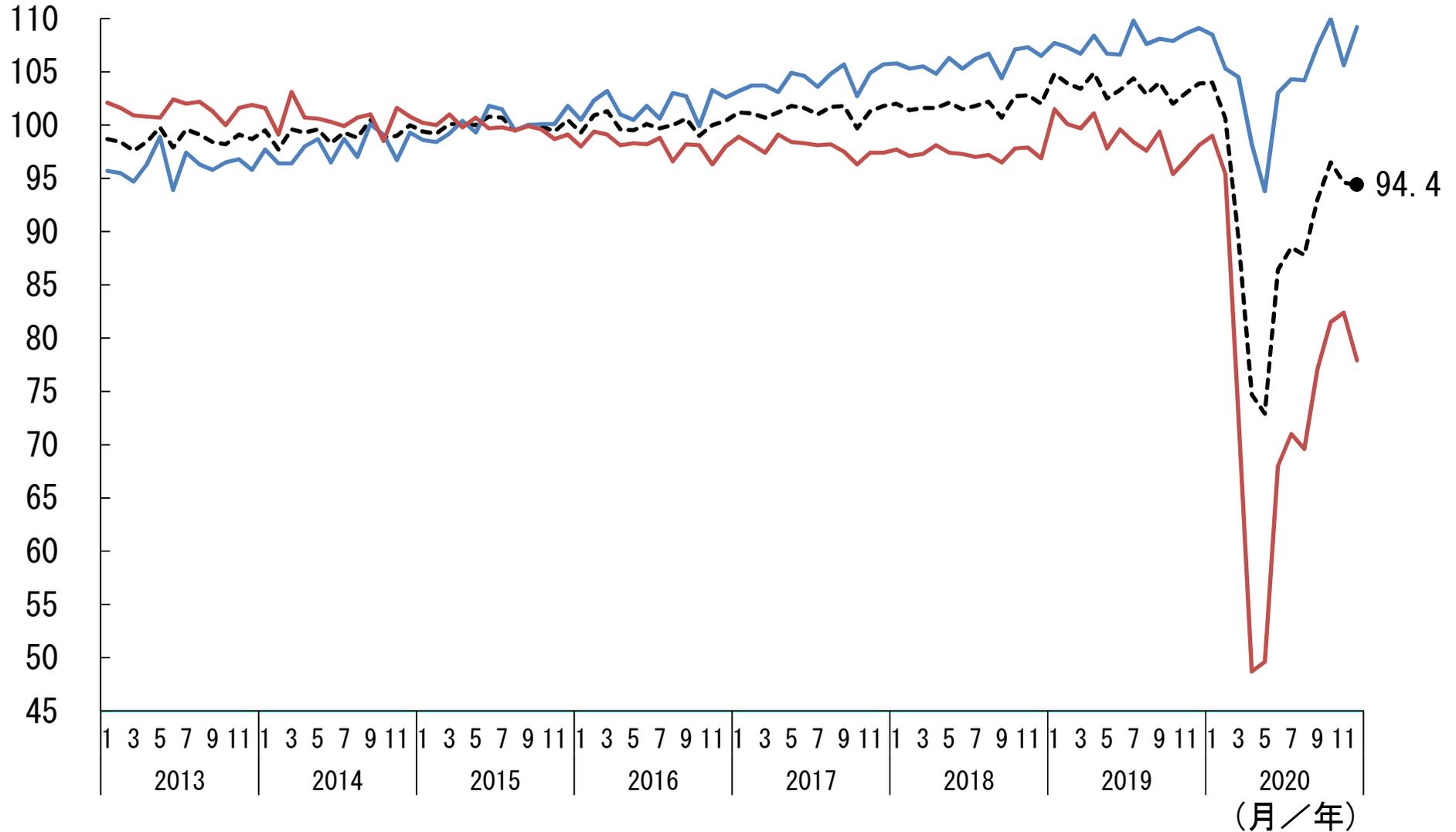
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



業種別にみた生活関連型サービス活動の動向

(2015年=100、季節調整済)

--- 生活関連(試算値) — 医療, 福祉
— 生活関連娯楽サービス



2020年10～12月期の第3次産業活動指数の状況

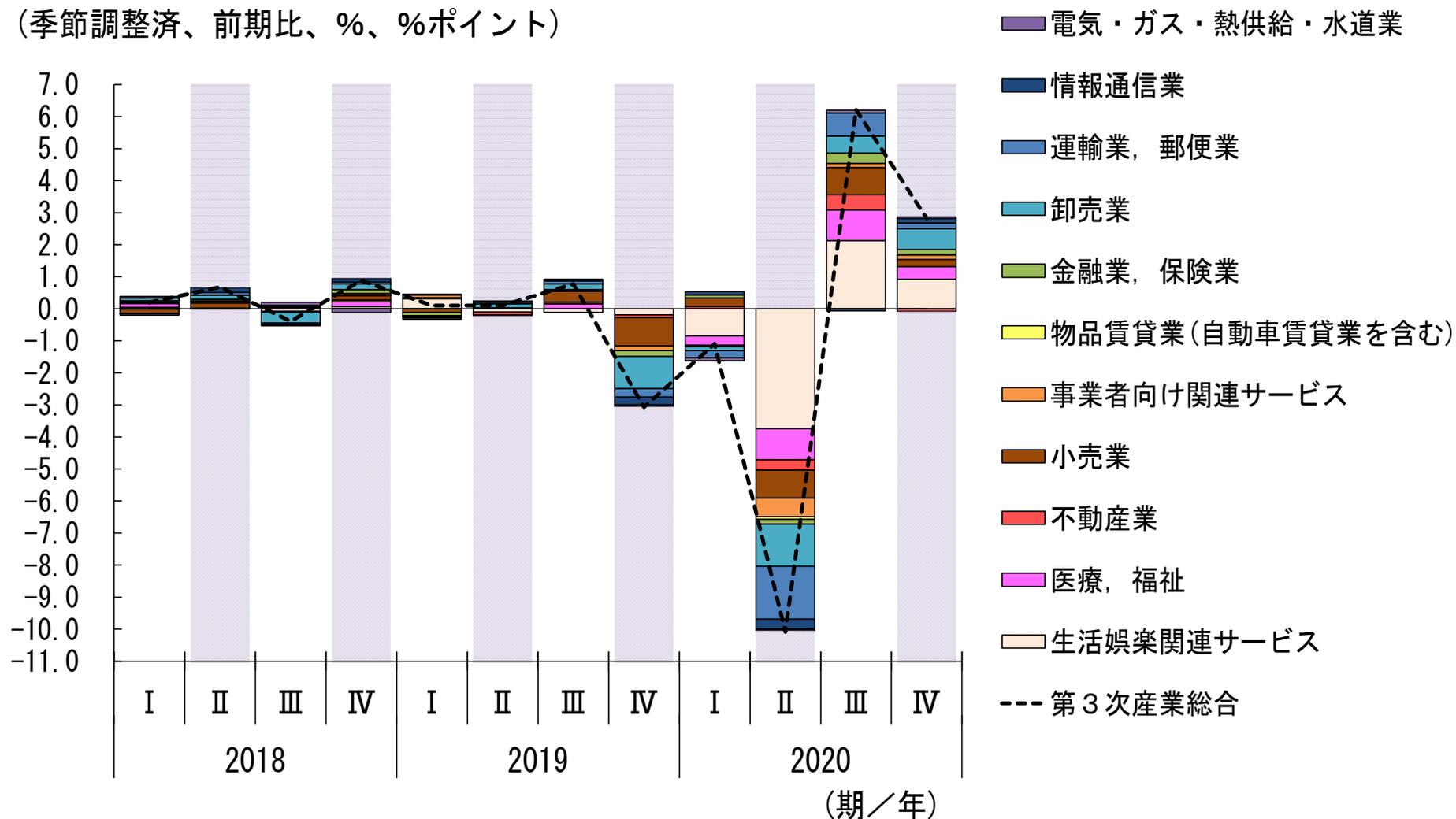
四半期	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数	98.3	97.1	98.7
前期比	2.8%	3.2%	1.3%
指数水準	2020 I 100.1以来 I 2019 III 104.4 II 2019 II 103.6 III 2019 I 103.5	2020 I 98.5以来 I 2019 III 103.6 II 2018 IV, 2019 I, II 102.6 III 2018 II, III 101.5	2020 I 101.8以来 I 2019 III 105.8 II 2019 II 104.7 III 2019 I 104.3
前期比の動き	2期連続+ (2020 III～当期)	2期連続+ (2020 III～当期)	2期連続+ (2020 III～当期)
前期比幅	2020 III 6.2%以来 I 2020 III 6.2% II 2020 IV 2.8% III 2014 I 1.2%	2020 III 9.7%以来 I 2020 III 9.7% II 2020 IV 3.2% III 2014 I 1.4%	2020 III 3.7%以来 I 2020 III 3.7% II 2014 I 1.4% III 2020 IV 1.3%
原指数	99.9	98.8	101.0
前年同期比	-2.9%	-3.3%	-2.5%
前年同期比の動き	5期連続- (2019 IV～当期)	5期連続- (2019 IV～当期)	5期連続- (2019 IV～当期)
前年同期比幅	2020 III -8.6%以来 ①2020 II -13.0% ②2020 III -8.6% ③2020 IV -2.9%	2020 III -9.1%以来 ①2020 II -16.4% ②2020 III -9.1% ③2020 I -3.4%	2020 III -8.2%以来 ①2020 II -9.8% ②2020 III -8.2% ③2020 IV -2.5%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

第3次産業活動指数前期比 業種別の影響度合い

・2020年10-12月期の第3次産業活動指数は、不動産業が低下したものの、生活娯楽関連サービスなどが上昇したため、前期比2.8%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



2020年の第3次産業活動指数の状況

年次	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
原指数	96.0	94.0	98.0
前年比	-6.9%	-8.0%	-5.7%
指数水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準
	①2020 96.0 ②2014 99.6 ③2015 100.0	①2020 94.0 ②2014 99.5 ③2013 99.7	①2020 98.0 ②2014 99.7 ③2015 100.0
前年比の動き	6年ぶりー (2014以来)	6年ぶりー (2014以来)	6年ぶりー (2014以来)
前年比幅	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準
	①2020 -6.9% ②2014 -0.6% —	①2020 -8.0% ②2014 -0.2% —	①2020 -5.7% ②2014 -0.9% —

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

第3次産業活動指数前年比 業種別の影響度合い

・2020年の第3次産業活動指数は、金融業、保険業が上昇したものの、生活娯楽関連サービスなどが低下したため、前年比-6.9%の低下。

(原指数、前年比、%、%ポイント)

